

人 口

大正9年の第1回国勢調査では1 336千人であつた本県人口は、昭和30年には2 205千人となり、この35年間に87万人の増加を示した。これを大正9年=100とした指数で見ると165となり、全国の増加率161より上回っている。なお、終戦直後急激に上昇した出生数も（昭和22年人口千人につき35.0人）最近では戦前より低く、昭和15年（人口千人につき29.2人）と比較してみると昭和32年39 056人で（人口千人につき17.3人）7 337人少ない。一方死亡数も出生と同じ傾向にあり昭和15年（人口千人につき18.3人）29 044人であつたが、昭和32年（人口千人につき10.0人）22 358人で年間6 686人の減少となつている。

又、戦後の社会移動の状態をみると、他県への転出者が多かつたが昭和32年にはいり転入者が多くなつた。これは、京葉工業地帯の工場誘置、住宅団地等の造成で社会増となつたもので、今後益々増えるものと思われる。したがつて、自然増加率（出生率—死亡率）は減少の傾向にあるが、絶対数は増加して行くであろうから、社会増と相俟つて、本県人口は増加して行くものと考えられる。

	人 口 (昭 30)	出 生 (昭 32)	死 亡 (昭 32)	他府県への転入転出 (昭 32)		
				転 入	転 出	増 減
全 国	89 275 529	1 563 394	752 069	—	—	—
千 葉 県	2 205 060	39 056	22 358	66 418	64 455	1 963